

慈 心

めぐみ

鎮西敬愛学園通信

No. 80 2019 年 秋号

敬愛幼稚園／敬愛中学校／敬愛高等学校

〒 800-0035 北九州市門司区別院 6 番 1 号

中・高 TEL 093-381-3537 FAX 093-391-8049

幼稚園 TEL 093-371-2267 FAX 093-391-9385

敬愛小学校

〒 800-0057 北九州市門司区大里新町 1 1 番 7 号

TEL 093-381-0611 FAX 093-381-0601



いじぶ

人間は、孤独な存在であるのと同時に、
社会的な存在なのです。

アルベルト・アインシュタイン

私たちは、この世に生を受けた瞬間から、私だけの人生を歩み始めます。生きる上においては、思い通りにならないことも多々ありますが、どんなに苦しい状況に直面したとしても、誰にも代わってもらえないことの出来ない、私自身の責任において背負っていかねばならない人生です。そして最後は、親しい人とも別れ、ひとり死を迎えなければなりません。厳しいいのちの現実です。

このように、私が私にしか歩めないこの人生を一步一步歩んでいく道のりは、同時にあらゆるものとの繋がりの中で、お互いに支え合い助け合って初めて成立するものでもあります。過去から現在、そして未来へと、途切れることなく受け継がれていくいのち。今私はまさしく、広大ないのちのはたらきの真ただ中にあるのです。

今日、目覚ましい科学技術の進歩によって、世界中の人々との交流が容易にできるようになりました。そのような時代だからでしょうか、いつも誰かと繋がっていないと不安を感じる人も多いようです。しかし、ふと立ち止まって、静かに自分自身に目を向けてみると、限らないいのちが私に寄り添い、その優しさや温もりに包まれながら、生かされて生きる我がいのちであることに気づかされます。

孤独でありながら、ひとりでは生きられない私です。こうしたいのちのあり様に領けたとき、あらゆるいのちと共に生きる生き方が生まれるのでしょうか。この世界にただひとりの私、ただひとつの生き方を大切にしていきたいと思っています。

敬愛祭

9月14日(土)・15日(日)、敬愛祭を開催しました。1日目は部活動やクラス、個人によるステージ発表を行い、2日目はステージでの発表に加えて、地域や企業の方々のご協力のもと、様々な展示や販売を行いました。本年度のテーマは「虹く718人をつくるDANCE」であり、生徒一人ひとりが力を合わせ、それぞれの強みを活かしながら一つのものをつくるということを念頭に、当日まで準備を進めました。

生徒の頑張り、地域の方々のご協力によって、当日はたくさんの方にお越しいただき、笑顔の絶えない賑やかな敬愛祭になりました。敬愛祭までの活動を通して、たくさん学びや経験を得ることができ、地域とのつながりを実感することもできました。

ご協力いただいた皆様、ご来校いただいた皆様、本当にありがとうございました。

合同制作 モザイクアート

今年度の敬愛祭の「合同製作」は、昨年に引き続き、モザイクアートを行いました。上部には鎮西敬愛学園創立から今までの間に撮られた写真の一部が並べられ、下部には学園のこれまでのあゆみを表したイラストがデザインされています。

限られた時間の中、各クラスで割り当てられた部分に折り紙を貼り、合同製作班の生徒たちが回収したものを糊付けして体育館に設置しました。完成品は圧巻の出来で、たくさんの方が見に来てくださいました。



中2 職場体験発表・スコーン販売「yum yum」

中学2年生は、7月10日(水)・11日(木)の2日間、20の事業所で職場体験をさせていただきました。

普段の学校生活ではあまり目にしない仕事を体験させていただき、私たちの豊かな暮らしに多くの人や職業が関わっていることを実感し、とても貴重な体験になりました。

体験後は、2日間を通して学んだことや感じたことなどを振り返り、その内容を模造紙にまとめ、敬愛祭で発表しました。クイズを出したり、実演したりして、発表方法も工夫することができました。

敬愛祭では、希望者を募りスコーンの販売も行いました。多くの人にフェアトレードについて知ってもらうため、北九州市立大学の太平先生に講義をしていただいたうえで、フェアトレードチョコレートを使ったスコーンをつくり、フェアトレードコーヒーと一緒に販売しました。職場体験で学んだことを生かし、製造部・販売部・広報部に分かれて何度も話し合いを行い、工夫を凝らしたお店を作り上げることができました。





敬愛の新しい取り組み① 敬愛タイムについて

谷川 生徒たちが主体的に自分の課題を見つけて取り組む時間をもつことで、より学びを深めることができるかとの思いで、今年度から中学で敬愛タイムを導入しました。半年が過ぎましたが…。

芝寄 結局、勉強ができるか、すごい大学に入学したのかと言われる子達は、皆主体性が備わっていて、自分で次の問題を探すことができています。独自の勉強方法が確立しているから合格を掴み取ったと言って間違いありません。中学校の段階で主体性を養うという視点はとても大事だし、先生たちが関わりながら、徐々にそれが備わっていけば良いなと思いつつながら私も監督しているところですね。

谷川 やらされる勉強というところから、自ら学習に向かっていく姿勢が身につけていけば、自分の進路を実現することに繋がっていくようにも思います。

芝寄 そうですね。

谷川 実際生徒たちの敬愛タイムについてのアンケート結果を見ても、「意欲的に取り組んでいる」という声が大きいのも事実です。将来的には敬愛タイムという時間

を設定しなくても自分で時間を見つけて、やるべきことをやるべき時にできるようになっていけば理想だと思います。

芝寄 所謂「自学ができる力」だと思っていて、放課後自習室を開いていますけれども、やっぱり活用できているのは、自分なりに課題を見つけて、「今日はこれをやって帰ろう」という子たちになっていきますし、そういう子が一人でも増えていかないと、勉強に限らず、将来自立できるのかどうかという心配も出てきます。そういう意味でも主体的に取り組んでいけるように導いていかないとけないと思いますね。

谷川 今後はお互いに教え合ったり、学年を越えて交流の場を作ったり、そうした中でより良い時間の使い方、勉強の仕方が分かっていく敬愛タイムになっていけばいいところですね。

敬愛の新しい取り組み② iPad使用について

谷川 中学1年生から全員にiPadを持たせています。各教科において積極的に使っていたいていますけれども。

芝寄 今までのように教師が言うことを聞きとるという型だけでなく、各自協働で問題を解いてい

くとか、色んなパターンの勉強方法ができてくるなどは感じていますね。

谷川 授業が活動的になったのは確かでしょうね。やっぱり、お互いに協働して与えられた課題に対して答えを導き出すとか、他者の意見や考えを聞いて、それに対して自分がこういう風に考えとか、そうやって周りの人たちと授業をつくりあげていく意識はiPadを持つことによって高まっていくのかなと思いますね。iPadがあれば、興味を持ったこととか、疑問に思ったこととか、すぐに何でも調べることができるようにもなりますし、そういう意味では自分の興味のある分野に対する知識も今まで以上にたくさん吸収することもできるし。

芝寄 今までの教育はバランス良く育てようというところがあつたように思っていて、あれもこれも受験科目だし、何でもかんでも基本的なことは全部できなきやいけなみみたいなのがありました。そうじゃない部分を求めてあげても良いのかなと。自分の得意な分野をとことん伸ばすとか、深めていくとか。大学入試も結局そういう個性的な子の方が印象に残るし、大学

で欲しいのもそういう子だったりします。もちろん、英語もできた方が良くとか、コミュニケーション能力があつた方が良いに越したことはないのですが、それをiPadを通してコミュニケーションの場も作れるし、場合によっては海外とコミュニケーションできるわけなので、こちら側がそういう場面を作ったりすればその部分も補えるのではないのでしょうか。自分の得意分野を深めることもいくらでもできる材料が手元にあると、プラスに捉えていますけどね。

谷川 でもやっぱり、情報が溢れすぎていて。

芝寄 ですね。

谷川 その中で何が正しいのか、何が必要なのか、そういうものを選び取る判断力もしかもり身に付けさせていくことも重要ですし、使い方次第で便利なツールではあるんですけど、機械に使われるんじゃないかって上手に活用しながら自分の学びを深めていくことに繋がっていくかと思えますね。その意味でも、敬愛での仏教の教えを基盤にした心の教育は大切にしていきたいと思っています。

NHK全国学校音楽コンクール出場

本校合唱部の児童31名が参加した第86回NHK全国学校音楽コンクール福岡県コンクール。見事、「二年連続金賞」に輝きました。続いて翌週に実施された九州・沖縄ブロックコンクールでは、『銀賞』を受賞することができました。

審査員である作曲家の三宅

悠太先生からは、曲の細かなアドバイスを頂くと共に、「曲のキャラクターを生かす音色感やワクワクするような音楽の方向性など魅力をたくさん感じます。壮大で素晴らしい合唱でした。想いを込めて歌ってください。本当にありがとうございます。ぜひ、いつかお会いしたいです。」とコメントをいただきました。

合唱部の子ども達からは、やりきった充実感と全国



大会を逃した悔しさが伝わってきましたが、「全国大会出場へまた一歩近づいた」と、意欲を膨らませていました。たくさんの方の皆さんの支えをいただき、素晴らしい成果を修めることができました。心より感謝申し上げます。



特集 ユーザー会in九州 開催

全国各地から教育関係者の皆様にご来校いただき、ロイロノートスクール・ユーザー会を本校にて開催しました。九州では初開催。そして、小学校で開催されるのは、日本で初めてのことでした。

「教育活動は未来を生きる子ども達のために行うもの。未来に必要なチカラとは何かを常に考えていきましょう。」という校長の挨拶で研修会がスタート。その後、一人一台のiPadを導入して6年目を迎える本校の実践を発表し、参加された皆様とトークセッション等を通して、授業の在り方を互いに研究し合いました。本校の6年間の取り組みを振り返るとともに、参加された皆様と意見交流ができ、とても有意義な会となりました。

【参加された先生方の感想】

学校の教職員の皆さんが同じモチベーションで研究されていることが、様々な場面で感じられ、それが自然に行われており、驚きでした。よりよい授業研究を話し合いたいと思える仲間に出会えた気持ちです。



【令和元年企画】保護者の方へのインタビュー

今号では、オープンスクールにご参加された方のアンケートから保護者の声をご紹介します

10月5日実施 夜の学校説明会

土曜日の夕方からの説明会であり、初めて父親も参加することができました。「先生と遊ぼう！」がとても楽しかったようで、帰り道では興奮さめやらず、先生や友達との出来事をたくさん話してくれました。また、子ども達のようなすばらしいプロジェクトで見ることもでき、先生方の細やかな配慮や気遣いも感じました。

9月25日実施 オープンスクール

5年生の学校説明は、本人達がリアルに体験してきたことを分かりやすく教えていただき、本当に説得力がありました。最後には、素敵な歌もプレゼントしていただき、幸せな気分になりました。



恒例になりました『5年生による学校紹介』です。自分で考えて敬愛小学校の魅力を紹介しました。



今年初開催でした。子ども達の学校探検は好評だったようです。

幼稚園通信

作品展バザー

10月20日(日)に作品展バザーがありました。父母の会によるバザーでは、手づくり品をはじめといたくさんの商品が並び、食品売り場では、おうちの方の手作りの豚汁や焼きそばが好評で、ご家族皆さんで食事や買い物を楽しんでおられました。作品展示では、今まで作ってきた作品がテーマに沿って飾り付けられた教室に並べられており、家族を案内して得意気に作品の紹介をしている園児の姿も見受けられました。笑顔が溢れ、たくさんの幸せな時間が流れる一日となりました。



年長 戸ノ上登山

秋晴れの空の下、年長児が、戸ノ上登山に挑戦しました。スタート直後は、「平気平気」と元氣いっぱいにおしゃべりも弾んでいた年長児たち・・・ところが登り進めていくうちに傾斜が険しく、「ゴロゴロとした山道に苦戦をし、言葉数も少なくなっていました。「弱音を吐かないで自分の力で登ること」との体操教室の先生との約束を思い出しながら、登り進めると木々が少なくなり、薄暗かった道がだんだんと明るくなり山頂が見えてきました。「ついた!」と満面の笑みで駆け出し登頂成功をみんな喜び合いました。つらい道も一歩一歩前へ進んでいくと明るい未来が待っている!そんなことを身体で感じてくれた出来事だったのではないでしょう。心も体もちよっと強くなった年長さんでした。



交流会



敬愛幼稚園では学園内の小学校・中学校・高校との交流会が盛んにおこなわれています。ペアが決まり、年間を通して数回交流を重ねていきます。初回は自己紹介やゲームなどをして、相手を知るところから。お互いに戸惑いがあったり、緊張があったりと、仲良くなることの難しさを経験しながら、

だんだんと打ち解けあい、最後はお別れが悲しくてたまらなくなってしまう。園児にとっては、色んな年代のお兄さんお姉さんと接する貴重な経験をいただき、たくさんかわいがってもらい、一緒に遊んでもらっていつも大喜びです。園児が受け取った多くの優しさは、きっと次の世代に受け渡していただけることでしょう。



法話

浄土真宗本願寺派
浄光寺（北九州市） 住職

大沼顕隆師



「今が一番の時」

「今が一番いい時ですよ」

いつからか、誰からともなくかけられたこの言葉、私にはしっくりきません。

なのに、私自身、気がつけば人に「今が一番いい時ですよ」と。違和感の理由は当の私が必ずしも今が一番の時とは実感してはいないからです。もし、あの時は良かったねと現在の自分と過去の自分の比較の上に自分の過去を相手に重ねて「今が一番の時」と言っているのだとしたら、当の私は一番いい時を生きていないではないか。

過去

過去とは不思議なものです。誰しも過去を振り返り懐かしさに浸ることがあります。過去を眼前に取り出し、今も手の中にあるように感じま

す。過ぎ去ったはずなのに懐かしさが今の私を、この命を底から支えているようにさえ感じます。もし過去を大切にしているのなら私の記憶以前をも大切にしなければなりません。

私の誕生日は五月十日ですが、出産予定日が一日でしたので母はお腹が張り大変でした。生まれて間もなく、門徒のお婆さんが私の誕生を喜んで、私を抱いて涙しました。そのお婆さんは私が一歳になる頃亡くなりました・・・。

これは全部母から聞いた話です。私自身のことですが記憶にはありません。しかし今私の命にこのお婆さんの涙は染み入っているはず。それならこのお婆さんを育てた、その涙を出させた、さらにその過去があるはず。過去の過去、無限の過去を孕んだ今の私と言つことになりません。

この私の命が無限の過去を宿しているのなら、私が生まれる以前「前世」があったのだというお釈迦さまのお言葉を聞き入れなければならぬ。しかし前生の記憶はありません。

未来

私たちは未来に希望を持ちます。青年には夢があります。しかし未来はどこかにあるのではないよう

す。

一昔前に話題になったフレーズに「ダイエットは明日から」とありました。この人は結局やせませんでした。

私たちは、明日を生きてはいませんから、やせませんでした。無限の過去を孕んだ今であるのなら、無限の未来を含んだ今のはずです。無限の未来に目を宿すのなら命の終わりのその先「後生」があるというお釈迦さまのお言葉を聞き入れなければならぬ。しかし後生は未だ見たことがない。

今

過ぎ去りし昨日、未だ来ぬ明日、今日は私の手もとにある。今の一瞬、刹那のいのち。

「お釈迦さまは仰った
阿弥陀仏は今現に在して法を説きたもう」

光寿無量の仏が今、あなたのいのちにお念仏の声となつてはたらき続けておられます。

今、今のこの時に、汝がいのちの輝きに二色無しと南無阿弥陀仏が響き渡っている。

汝が今が一番いい時

注目の生徒コーナー

新生徒会長 メッセージ

みなさんこんにちは。このたび中学生徒会長になりました、青木真子です。

私は去年、会計として生徒会活動に参加しました。その活動の中で、役員をまとめ、優しく全員を気遣ってサポートしてくださった先輩に強く憧れ、生徒会長になろうと決意しました。

生徒の皆さんの意見をできる限り取り入れて、皆さんがより良いと思える学校行事を実現させたいと思います。

不慣れで至らぬ点も多いとは思いますが、「生徒のための生徒会」であることを信条に、生徒会長として尽力していきますので、これから1年間、どうぞよろしくお願いします。

中学2年 青木 真子（敬愛小）



龍谷アドバンスト・プロジェクト

私は「仏教×SDGs」の題材として、精進料理に注目しました。

このプログラムに参加したことで、全国の姉妹校の生徒と交流したり、大学の教授や学生の方々の意見を参考にしたりと様々な活動を通して自分の意見を考え直し、深めることができました。

自分で行動する上で大切なことは、まず「いつ、どこで、誰と、何に対して、どのように行い、またそれをどのように知ってもらうのか」を考えることです。精進料理ならば、お寺で料理教室を開く、子ども食堂で料理を提供するなど、SDGsの目標を達成するためにはどのような方法をとるべきかを熟考し、様々な角度からものごとを考えることの大切さを学びました。

今回このような機会をいただけたご縁に感謝して、主体的に行動する力を養っていききたいと思います。

高校2年 秋永 大和（敬愛中）

卒業生からのメッセージ

平成10年度卒業 藤岡 福資郎さん



NTT東日本本社経営企画、広告宣伝業務及びITベンチャーでの執行役員経験を活かし、九州工業大学の講師としてインターネットと法・政策を教えています。

在校生の皆さん。こんにちは。はじめまして。平成10年度に鎮西敬愛高校を卒業した藤岡福資郎です。鎮西を卒業後、九州工業大学情報工学部に入學。東京大学大学院国際情報学府博士前期課程を修了。NTT東日本、ITベンチャー執行役員経験を活かし、現在は、九州工業大学の講師をしています。今後は、九州大学のサイバーセキュリティセンター教員就任の予定です。

大学の講義では、法制度は、いかにGAF Aを生んだか？など3、4年生の学生と共に議論します。海外事例だけでなく、日本人が海外で活躍し、技術立国の地位を築いたかという点にフォーカスし、一次情報に当たります。

日本人は、発想力やオリジナリティに乏しいというのは本当でしょうか？ 例えば、外で音楽を聴くシーン（「ウォークマン」）、携帯電話でインターネットを使うシーン（「i-mode」）、テレビ番組を録画するシーン（「ビデオ」）、世界中で当たり前のシーンですが、0を1にしたのは、数十年前の日本人・日本企業です。海外事例の前に日本の先人に学ぶことは多いでしょう。

おススメの一冊は、次の紙幣を飾る渋沢栄一先生の「論語と算盤（そろばん）」です。渋沢先生は、第一国立銀行、王子製紙等日本の近代の礎となる500あまりの企業を創設され、現代にも脈々とその息吹は息づいています。「私ヲ去リ、公ニ就ク」。ちっぽけな自己実現を超え、自分の満足のためではなく、周囲（「傍（ハタ）」）を楽にするために「はたらく」そんな生き方のエッセンスが凝縮された一冊です。



見守ってくれている存在（「阿弥陀様」）を10代で知り、かけがえのない友人を得たことが何よりの財産になりました。



卒業後20年が過ぎました。道半ばで逃げたくなったり、おごつてしまったり、人間の弱さを痛感しました。壁に当たった時、高校時代に宗教の時間に習った自分を越えたところにある、何より自分を見守ってくれる仏様の存在を意識することが心の支えになりました。皆さんが今学んでいること。仏様の存在を身近に感じる環境にあること。今は、その価値が見えないかもしれませんが。しかし、20年経ってわかることもあります。

Time is moneyと時間に追われるのではなく、Life is time. 今しかない戻れないこの瞬間を大切に経過してもらえたら、一先輩としてこれよりの喜びはありません。

（※）関連書籍3冊をNTTアメリカ元副社長 ニューヨーク州弁護士 城所岩生 先生より図書館にご寄進いただきました。是非、読んでみてください。

部・同好会活動の成績紹介

柔道部

世界力デ選手権大会（9月25日～9月29日）
52 kg級 出場 高校2年 多田 薫（広陵中）
全日本ジュニア体重別選手権大会（9月14日、9月15日）
（結果）
57 kg級 三位 高校2年 大森 朱莉（広陵中）

第74回国民体育大会（10月5日～10月7日）
（結果） 優勝

高校2年 丸山 みかの（丸子北中）
高校1年 坪根 和海（福岡中）

理科研究部

缶サット甲子園九州大会（8月25日）

（結果） 優勝

缶サット甲子園全国大会（10月13日～10月14日）

（結果） サイエンス賞 受賞

龍谷大学SDGsポスターコンテスト

（結果） オーディエンス賞 受賞

高校2年 藤村 拓海（守恒中）

かるた同好会

高文連総合文化祭小倉百人一首かるた大会（10月5日）

（結果） 無段の部 優勝

高校2年 林 亨祥（横代中）
高校2年 草野 真帆（直方第三中）

陸上同好会

第67回福岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
北部ブロック予選会 男子100M（9月7日）

（結果）

二位 高校1年 先本 貴一朗（日新館中）

敬愛中学校・敬愛高等学校 2020年度入試日程



敬愛中学校

入試日 **1/5 日** 一般入試
自己推薦入試

- ◇出願期間 12/13(金)～12/20(金)
- ◇合格発表 1/7(火)
- ◇手続日 (自己推薦) 1/9(木)～1/11(土)
(一般) 1/9(木)～1/21(火)

new ※英語検定・漢字検定加点制度有り

英語検定	4,5級	5点	3級以上	10点
漢字検定	5,6級	5点	4級以上	10点

敬愛高等学校

入試日 **1/21 火** A 推薦入試
B 普通入試

- ◇出願 1/14(火)～1/17(金)
- ◇合格発表 1/23(木)

入試日 **1/30 木** 一般入試

- ◇出願 1/14(火)～1/17(金)
- ◇合格発表 2/4(火)

※英語検定・数学検定・漢字検定加点制度有り

敬愛中学校 敬愛高等学校 オープンスクール

11/16 ±
10:00～12:20

11/30 ±
10:00～12:20

- 内容 ①敬愛の学力アップの秘訣が分かる学校説明 ④的場亮による特別講演会
「7×30点の受験の秘訣」(※11月16日のみ開催です)
- ②授業見学会・個別相談会も同時開催
- ③制服展示・制服試着 (※希望者対象です)
- 飯達也による特別講演会 (※11月30日のみ開催です)
「入試突破のための学力アップ特別セミナー」
- お申込み方法 前日までにお電話・ホームページにて

10月28日(火)にFM北九州の20:00～21:00に放送される「FM北九州ネットワーク」という番組に敬愛生が出演しました。

出演した敬愛生は、放送部、中学2年生の代表、湘科研究部でした。

放送部からは、学校の全体紹介や様々な部活動の紹介をしていました。

中学2年生の代表2人からは、8月に行われた運動会体験のことや、学生生活の話をしていました。また、フエアートレドについて学んだことなども、敬愛生でフエアートレドの講師を務める湘科研究部からは、先日行われた街サット甲子園全国大会や、人工衛星を電子島宇宙センターから打ち上げるプロジェクト「Project Mars」について紹介していました。

終わった後の生徒たちからは、「緊張したけれど、すごく楽しかった」という言葉が生徒たちから聞かれました。貴重な経験ができたことを嬉しく思っているようです。

今回のことを活かして、表現することの楽しさをこれからの生活に活かし、取り入れてみてほしいです。

今回の放送の様子はこちらをご覧ください。



FM北九州ラジオ生出演

